

東建パブリニユース

2019年12月24日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2019年12月23日 東海エリアデータブック2020 P.48

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

AICHI PROJECT

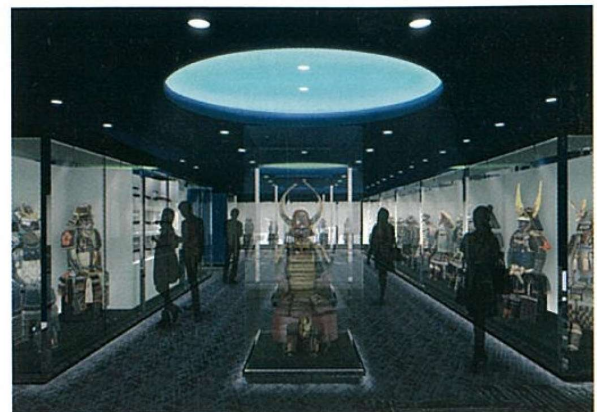
名古屋刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」

(名古屋)市民版エリア

東建コーポレーションは、日本最大級の刀剣博物館となる名古屋刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」を2020年6月に開館する。同館は、同社が中区栄三丁目に建設中の28階建高級賃貸マンション「栄タワーヒルズ」本館の2階の一部と、隣接する7階建の北館に入る。

栄の繁華街にも近いほか、名古屋市美術館、名古屋市科学館、大須商店街などが周辺にあり、名古屋の観光拠点の新しい核施設として、また、戦国武将ゆかりの地である名古屋のシンボル施設として、多くの外国人観光客の来訪にも期待される。

施設の延床面積は約3,300㎡。最大200振の日本刀(刀剣)の展示が可能で、国宝・重要文化財や重要美術品といった貴重な日本刀(刀剣)のほか、約50領の甲冑(鎧兜)、絵柄に刀剣類が登場する浮世絵など、大規模な展示を予定。織田信長の弟で、茶道家としても知られる武将・有楽斎が愛用した国宝の短刀「有楽来国光」も同館の目玉として展示される。また、最先端の映像メディアを活用した展示スペースを設置して、「誰もが楽しめる日本文化との出会いの場」を目指す。



展示イメージ



展示イメージ

以上